

周年で彩る日本の花！

盆需要に向け「菊」出荷ピーク！

【8月6日（金）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央菊共撰組合（組合長：藤関弘之）が栽培する菊が、7月下旬から出荷の最盛期を迎えます。

碧南の菊は白の輪菊を主体に、時期に合わせて、品種を変えての周年栽培を行っています。葬儀用・仏花用の菊を中心に栽培しているため、新型コロナウイルス感染拡大防止による葬儀の縮小、家族葬の奨励等で大きな影響を受けています。

菊は元々縁起物の花とされており、花持ちの良さから葬儀で使われるようになったとされます。生活様式が変わり、葬儀や墓前でしか菊を見ることがなくなったために現在のイメージが定着しました。

近年では仏花だけでなく、ブライダルやフラワーアレンジメントでも使われるようにPRしています。

今作は梅雨入りが早く、曇りや雨の日が多くありましたが、暖かい空気に覆われた日が多かった為、生育は順調で、品質は例年通り良好です。

収穫前の菊圃場。つぼみの状態で収穫されます。

碧南市内で栽培している品種

碧南では白の輪菊を主体に周年行っており、5月下旬から11月中旬は「精の一世」、11月上旬から5月下旬は「神馬」と、時期に合わせて品種を変えての栽培を行っています。

J Aあいち中央菊共撰組合

組合員：9人
栽培面積：3.2ヘクタール
出荷時期：周年（最盛期：7月下旬～8月下旬）
総出荷量：約210万本（全品種計）
流通先：東北・関東市場（7割）、中京市場に出荷しています。

<メディア対応日>

日時：2021年8月6日（金）／午前8時45分

場所：J Aあいち中央碧南北部営農センター

（碧南市古川町2-15）集合

※取材当日は、菊圃場（車で15分移動）で収穫、選花場に戻り選花・梱包作業を撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。



菊はJ A選花施設に持ち込まれ、丁寧に選別されます。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp